

令和8年度瀬戸内さかなブランド化推進業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和8年4月22日（水）13時30分から14時30分まで
2	場 所	広島県庁本館4階広島県海区漁業調整委員会室
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産局水産課長 ・ 総務局施策形成・広報担当部長(兼)施策形成支援チーム担当課長 ・ 農林水産局農林水産ブランド戦略部長 ・ 商工労働局観光課観光魅力創造担当課長 ・ 農林水産局販売・連携推進課長
4	議 題	令和8年度瀬戸内さかなブランド化推進業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	農林水産局水産課
6	開催方法	対面
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書をもとにプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者 ①合同会社MHDF</p> <p>(2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者 最優秀提案者：合同会社MHDF</p> <p>(4) 各選定委員の主な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド戦略を理解し、バリューチェーン、サプライチェーンの構築や、情報発信を組み立てられており、評価できる。 ・ これまでの取組を踏まえた課題設定や的確な事業内容となっており、ステークホルダーと構築されている関係性をもとに成果を上げることが期待できる。 ・ モデル店舗の創出の取組が、他店舗へ波及するよう配慮いただきたい。

	<ul style="list-style-type: none">・ 瀬戸内前鮭について、他の地域に売り込める、広島の新たな食のコンテンツとなるよう、広島らしさを尖らせていただきたい。・ 「瀬戸内前鮭」というネーミングについて、消費者目線で覚え易い、提供者目線でPRし易いなど、分かりやすいように工夫していく必要がある。・ 瀬戸内さかなの供給増加に向けた取り組みとして提案されている、漁協単位での出荷や横持ち業者単位の出荷が、こだわり漁師のブランド価値を棄損しないように留意する必要がある。・ 業務内容が多いが、確実に実施できるよう体制の充実等を図っていただきたい。
--	---